

平成28年度札幌市行政評価

市民参加ワークショップにおける改善提案と札幌市の考え方 (平成29年度における再検討結果)

目次	テーマ:みどり豊かな都市づくりの推進(魅力ある公園づくりなど)	
	■事業への提案	P.1~2

平成28年度札幌市行政評価 市民参加ワークショップにおける改善提案と札幌市の考え方

テーマ:みどり豊かな都市づくりの推進(魅力ある公園づくりなど) 所管部局:みどりの推進部

No.	検討テーマ	事業への改善提案	平成28年度 取組の方向性	平成28年度 市の今後の取組の考え方	平成29年度 再検討結果	平成29年度 再検討結果に関する市の考え方
1	【北・東区チーム】 各公園の設備や状況等の周知と 利用者が受け取りやすい情報システムの構築	○各公園の設備や状況等の周知と利用者が受け取りやすい情報システムの構築について 各公園の設備や状況等の周知と利用者が受け取りやすい情報システムの構築により、公園利用者に防災情報、観光情報、公園を利用するにあたってのマナーに関する情報などを提供してはどうだろうか。 手法の一つとして、液晶表示やネットワークシステムの構築が可能な自動販売機を活用した情報提供手法を検討してもらいたい。	検討する	各公園の設備や状況等については、「札幌市公園検索システム」により情報を提供しており、必要に応じて機能の追加を検討します。 また、公園利用者への防災情報、観光情報、公園を利用するにあたってのマナーに関する情報などの提供手法についても、自動販売機の活用を含め検討します。	実施済み	各公園の設備や状況等については、「札幌市公園検索システム」により情報を提供しています。新たに公園トイレの冬季開放状況を追加しており、今後も必要な情報提供に努めます。 また、災害対応型自動販売機（災害時に無料で在庫飲料水を提供）を一部公園に設置しており、今後は液晶表示等の活用も検討していきます。
2	【白石・厚別区チーム】 「大人がふと立ち寄りたくなる公園」づくり ～子どももない“昼”の有効活用～	○「大人がふと立ち寄りたくなる公園」づくりについて 少子高齢化が進み、最近は街区公園で遊んでいる子どもを見なくなってきているので、年配の方も利用しやすい公園への転換等を図ってみてはどうだろうか。社会情勢の変化を踏まえて、例えば「ウォーキングしやすい場」、「木陰でくつろぐ場」、「多世代交流の場」などのイメージで公園の在り方を再検討してもらいたい。	検討する	少子高齢化等の社会情勢の変化を踏まえた公園の在り方については、現在策定中の「札幌市公園整備方針」に盛り込む予定です。	実施済み	札幌市では、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の人達が楽しめるよう、老朽化した公園について、地域住民との意見交換会等を通じ、地域ニーズに合った再整備を実施しています。 その際、地域内に複数の公園がある場合、面積の大小等により、遊具主体、ベンチ等の休憩施設主体、広場主体とする等、機能を分担することにより、幅広いニーズに対応できるよう、取り組んでいます。 なお、これらの考えを盛り込んだ「札幌市公園整備方針」を平成29年9月に策定しました。